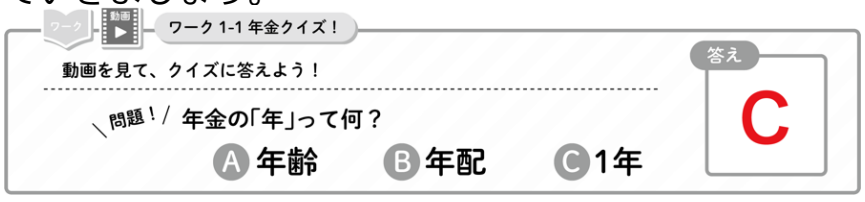
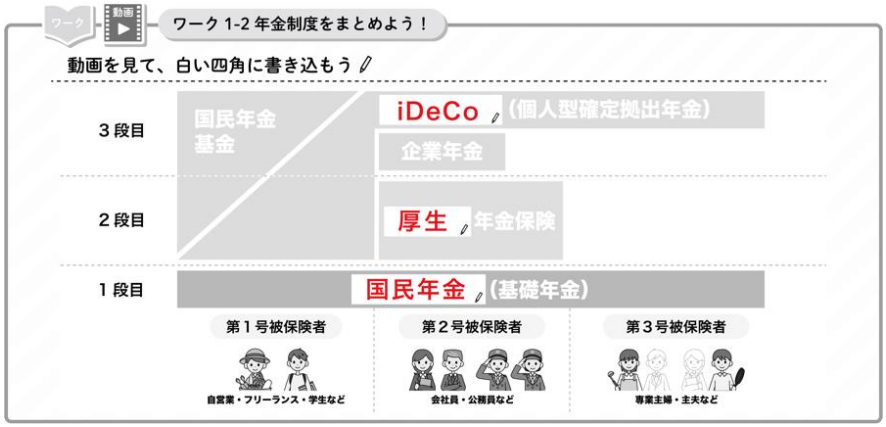
1時間め 公的年金ってどんな制度？

生徒の目標

・公的年金制度の基礎を理解し、概要を説明できるようになる

時間配分		授業内容	使用教材
導入	５分	1時間目は「公的年金ってどんな制度？」という単元です。QuizKnockの年金動画を見たことがある人はいますか？ （挙手をさせてリアクション）	
	９分	じゃあ最初は３択のクイズです。 どれかに必ず手を挙げてくださいね。 問題！「年金の『年』って何？」 A、年齢だと思う人　B、年配だと思う人（お年寄りのことですね）、C、１年の年だと思う人 では答えのVTRを見てみましょう！ （ビデオ２分）	ワーク1-1 クイズ ビデオ
	11分	というわけで、答えはCの１年。 （教科書のクイズの下部３行を読む） これから３時間にわたって、この年金のことを勉強していきます。 みなさんが卒業後就職したり、20歳になったら、絶対に加入して、生涯付き合っていく制度です。 今日は自立した大人になるための授業です。一緒にやっていきましょう。 	ワーク1-1 クイズ ①の文
展開	15分	（教科書②を読む） 右の図を見てください。 大きく分けて年金には３種類あります。年金は、若い人でももらえる制度なんです。 詳しくは、次の段落で説明していきます。	②の文

時間配分		授業内容	使用教材
展開	25 分	図の、1 番左のラインを見てください。 20 歳になったら、全員国民年金に加入します。20 歳になる前でも、社会保険に加入している企業に就職した場合、厚生年金に加入することになります。 国民年金の場合、20 歳から 60 歳になるまで毎月 16,520 円の保険料を払ったら、65 歳から毎月 66,000 円の年金をもらえる、というのが基本的な仕組みです。でもこれは、働き方や暮らし方によって変わってくるのです。 （教科書 第１号被保険者 から 第３号被保険者 まで読む）	③の図 「国民年金」 ③の文
	32 分	それではビデオを見ていきましょう。 ビデオを見ながら、ワーク 1-2 の空欄がわかったら書き込んでくださいね。 （ビデオ 4 分）	ワーク 1-2 ビデオ
	35 分	さきほどのワークの答えは、上から iDeCo、厚生、国民年金、でした。 ビデオをちゃんと見ていたらわかりましたね。iDeCo というのは私的年金の１つですが、詳しくは次の時間で説明します。 （時間があればビデオを視聴（17 分）、時間がなければお家で見てくださいね、と促す） 	ワーク 1-2 ２つめの ビデオ

時間配分		授業内容	使用教材
展開	37 分	では次の段落です。 民間の保険には、病気の人が急に入ることができない保険もあります。 でも公的年金は、若いうちに障害年金でお金をもらえることもあるし、65 歳になったら死ぬまで一生涯、何年間でも老齢年金をもらうこともできます。 なぜそんなことができるんでしょうか。	
	42 分	（教科書④を読む） 自分が払った年金って、どこかに貯めてあるわけではないんですね。 お金の価値って一定ではないんです。 今の 100 円が、将来も 100 円の価値を持ち続けているとは限らない。 だから、将来の自分のために口座を用意して自分の年金を貯めておくのではなく、その時働いている人が収めたお金から、支払われているんです。 この仕組みを賦課方式といいます。 アメリカ、イギリス、ドイツなど、多くの先進国で採用されている方式です。	④の文 賦課方式の図
まとめ	45 分	（まとめを読む） これで１時間目の授業を終わります。 この時間で初めて知ったことがあった人は、テキストの「まとめ」の下の空いているスペースに書いてみてください。 どんなことを初めて知ったのか。それを知って、どう思ったか。 次回はライフプランによって、もらえる年金額はどのくらい変わるのか？ についての時間になります。	⑤の文